

平成31年度第1回4月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 平成31年4月17日（水）午後2時

2. 開催の場所 栃木放送本社会議室

3. 委員の出席 委員総数9名
出席委員5名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	委員	河又弘子
	委員	白幡冬彦
	委員	富田哲夫
	委員	小祝章二

局側出席者名	代表取締役社長	大塚幹夫
	報道制作局長	川島育郎
	編成部長	大谷佳久

4. 議 題

(1) 「民謡マナブ」について

毎週火曜 11:05～11:15

(平成31年3月26日、4月2日放送分)

報道制作部 川島育郎

(2) その他

5. 議事内容

(1) 「民謡マナブ」について

毎週火曜日 11:05～11:15

報道制作部 川島育郎

試聴番組：放送した番組を予め試聴。

議題説明：報道制作局川島が番組の企画・制作内容について説明した。

鈴木アナが民謡の歌い手に弟子入りして民謡を学んでいくというコーナー。コーナーに合わせて今年3月に民謡大会を開催するとともに、過去録音した栃木県の民謡の貴重な音源をCD化し発売したなど番組コンセプトや付随企画を説明して審議に入る。

各委員からは、

- 民謡に触れる機会が少ない中で、鈴木アナの意欲が伝わってきた。気軽に聴くことが出来てとても良かった。民謡はとっつきにくいところもあるが、親しみやすく良い番組だと思う。
- 番組では大会の音が聞き取りづらく残念。残していくものとしてとても大切なので、もっと民謡の良いところをアピールしてほしい。
- 良い番組で、民謡を学ぼうとする姿勢がとても良い。
- 民謡番組が少ない中で、意識されない歌に光を当てるのはとても良い。学んでいる方や子供たちを出演させると良いのではないかな。今後も続けてほしい。
- 民謡番組は初めて聴いた。民謡を唄う方がこれだけいるのに驚いた。子供や習っている方に焦点を当てるともっと良い。せっかくなので発売したCDを番組でもっと放送したり活用を考えてほしい。
- 県内にこれだけの民謡があるということに感心した。大会に出場した子供を取り上げたのは良かった。テレビにはない味がある。ラジオの良さが出ている。今後も続けてほしい。
- 良い番組なので、今後は栃木県らしさに光を当てるような企画をお願いしたい。
- 昔の音源をCDという形にしたのは功績が大きい。
- 民謡大会は継続するのか？小さな会場で何回か発表する機会を作れると良いのではないかな。
- 地元の良さを引き出すチャンス。地元メディアにはこうした活動を頑張ってもらいたい。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

平成31年度番組審議会の開催日程について審議した。これまで毎月第2木曜午前11時から開催していた日程を平成31年4月以降、毎月第2水曜午後2時から開催することとした。

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」

(平成31年4月21日(日) 午前8時5分放送)

② 社のホームページに掲載(令和元年5月14日～)

③ 社事務局に議事録備え置き(令和元年5月14日～)

以上